

# 第一学年 学年だより

豊中市立第一中学校

2020年12月9日(水)No.25

## 2学期期末テストお疲れさまでした。

どの教科もどんどん難しくなっていますね。授業を受けるだけで身につくわけではありません。毎日しっかり家庭学習することは必須です。定期テストの前にまとめて勉強するという考えでは十分ではないことがわかってきたのではないのでしょうか。その場かぎりの記憶では本当の実力はつきません。自分の成長のためにしっかり毎日計画的に過ごしましょう。

教科	講評
理科	テスト範囲はせまかったものの、新しい言葉や計算問題があり、難しく感じることもあったと思います。しかし、授業をしっかりと聞いている生徒は取り組むことができました。わからないところはその都度質問をして、理解できるように努めましょう。漢字の間違いも目立ちました。新しく出てくる言葉は必ず漢字を確認しましょう。勉強のやり方は、人それぞれだと思います。例としては、薬品名などは何回も書いて覚え、計算問題は自分で解けるように繰り返すことだと思います。学年末テストでは、今回の反省を生かして早め早めに勉強の計画を立てて、頑張りましょう。
英語	今回のテスト範囲は、 <u>3人称単数現在</u> と <u>人称代名詞の活用</u> がメインの出題となりました。この二つの単元は1年生の英語の学習内容の中でも最もつまずきやすく、今後英語を学習していくうえで大切な部分です。英語学習の基礎の基礎となる部分です。この二つをおろそかにすると、これから学習する新しい英語の内容がうまく積みあがっていきません。これからの学習効率が悪くなるということです。テスト返却時にも言いましたが、今年度2020年までに、『3人称単数現在形の文』『人称代名詞の活用』それに加えて『be動詞と一般動詞それぞれの文の作り方』（英語のしくみ①P58・P59、②P76・77）の内容を <u>猛復習</u> してください！ 2020年最後の課題です！やりきって新年を迎えましょう。
保体	1学期に比べ、保健分野の範囲が追加された分、テスト勉強も大変だったと思います。範囲が広くなればそれだけ計画的に、早い時期から復習していかなければ間に合いません。あきらめずに、しっかり学習に取り組めた人は、その努力を、また次の機会にも活かしてください。教科書やノート、学習プリントを丸暗記するだけではなく、授業中の説明もよく思い出し、内容をきちんと理解していくことを心がけていきましょう。

<p>国 語</p>	<p>今までのテストで最も範囲が狭いこともあり、比較的テスト勉強がしやすかったのではないのでしょうか。また、中間テストの結果をうけて、授業態度や漢字の小テストの取り組み方を見直した人は、それに見合う結果が得られたかと思います。</p> <p>学年末テストは、今回より範囲が広がります。授業でわからない部分や聞き逃した部分があれば、その都度解決するようにしましょう。テスト前にまとめて解決しようとする時間がかってしまいます！日々の頑張りを大切にしてください。</p>
<p>数 学</p>	<p>大問3の座標の問題は、<math>x</math>座標と<math>y</math>座標の位置を逆に覚える生徒が毎年いるのですが、確実に理解してくれてたようで、ほとんどの人が正解していました。それに対して、大問6のグラフをかく問題では、比例の直線のグラフを座標の点で表したり、反比例の双曲線のグラフを直線で表した人が何人か見受けられました。基本的な問題ですので、期末テストは終わってしまいましたが、今からでもしっかりと復習をして、グラフをかけるようになっておきましょう。大問7～大問9では、比例定数の求め方や式の表し方を、比例と反比例の間で混同してしまっている生徒が目立ちました。ここでも、基本を押さえて、しっかり、復習しておきましょう。2月下旬の学年末テストでは、図形の範囲が中心となります。普段の毎日の生活で、コツコツと週末課題や問題集に取り組んで、数学の力を伸ばしていくようにしましょう。</p>
<p>社 会</p>	<p>中間テストのふり返りをしっかり意識をしながら、テストの解答方法や勉強の方法や勉強の時間など、自分で工夫をしながら期末テストに向けて取り組めた人が多かったように思います。テストの解答方法の中で、今回は中間テストのふり返りを活かして、指示通りに解答できている人がほとんどでした。解答欄を間違えている人も少なかったように思います。今回の取り組みがテストの結果にしっかりとつながった人もたくさんいましたね。納得のいく結果となった人は、今回の経験を次に活かしてください。</p> <p>学年末テストでは、内容が変わり歴史となります。難しい内容も入ってきます。しっかりと日々の授業を大切に、頑張っていきましょう。</p>

